

負ける練習、後け身

柔道の基本は後け身。
後け身は投げ絶つための練習。
人の前で叩きつりられる練習。
人の前でこころの練習。
人の前で負ける練習です。
つまり人の前で失敗したり
恥をさらす練習です。
自分から力こぶを
多くの人に
ぶさぶさにさらけ出す練習
それが後身です。
取り人様には
オコよと勝つことより
ぶさぶさに負けたら
だらしない恥を
さらすことのほうが
はるかに多いからです。
そして負ける方も後け身の
ほんとうに身についた人間は
人の苦しみや
苦しみに耐えて
ひと他人への胸の痛みも
心の底から理解できる
やさしく暖かい
人間になれるのです。
そういう志こみに耐えた
後かこころの人間のこころ
観音さま、仏さま

叩ぶんです。

相田みつを氏

青春二重巻第一巻手巻より

復興の声

大きな声で、日本経済の復興、
小さな声で、被災者の復興を
日本復興は、
——安田喜博氏——

大人物？

問題提起
動いた心！
——ハトオツボ——

おのれ解酒

「おのれ解酒」
「おのれ解酒」
これで通ひか
よくなる。
——自民党——